

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位  
 対象学年組：第2学年（A組：近衛）（B組：平井）（C組：平井）（D組：近衛）  
 使用教科書：（『文学国語』筑摩書房）

教科 国語 の目標：  
 【知識及び技能】文学的作品や評論文を読むにあたってこの国語の知識や技能を身に付け、他者や社会に興味関心を持つ。  
 【思考力、判断力、表現力等】「書くこと」「読むこと」を通して、共感したり想像したり、また論理的に考える力を伸ばしていく。  
 【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、国際社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文学的作品や評論文を読むにあたっての国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対して興味関心を持ち、理解を深めることができる。	文学的作品や評論文を読むにあたって、深く共感したり豊かに想像したりする力や論理的に考える力をつけ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深める。生涯にわたって読書に親しむ姿勢をもち、我が国の文化の担い手として、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度をもつ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	前半 ★内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ★文章の精読を通して多角的な視点と豊かな心を育む。 ★常用漢字の習得	「プラスチック膜を破って」梨木果歩 「名づけと所有」西沢修  ○便覧・端末の活用	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 プリントまたはレポートの提出。	○	○	○	13
	後半 ★内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ★実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。	「山月記」中島 敦 評論 二本	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 発表 ○参考資料	○	○	○	13
	定期考査		○	○	○		○	○		2
2 学期	前半 ★文章や図表に含まれている情報を的確に読み取り、筆者の意図を解釈し、自己の考えを深める。 ★話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や話し合いの仕方や結論の出し方工夫すること。	「記号論と生のリアリティ」立川健二  「こころ」夏目漱石	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出 宿題の提出。 小テストの実施。 発表	○	○	○	15
	後半 ★内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ★文章の精読を通して多角的な視点と豊かな心を育む。 ★常用漢字の習得	「こころ」夏目漱石 「私の個人主義」夏目漱石  「建築論ノート」松山巖	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 発表 プリントまたはレポートの提出。	○	○	○	15
	定期考査		○	○	○		○	○		2
3 学期	★内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ★文章や図表に含まれている情報を的確に読み取り、筆者の意図を解釈し、自己の考えを深める。 ★実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。	詩 「小景異情」 「死にたまふ母」他  「文学の仕事」 加藤周一	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 発表 プリントまたはレポートの提出。 ○参考資料	○	○	○	9
	★文章の精読を通して多角的な視点と豊かな心を育む。		○	○	○		○	○		8



年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組～D組

教科担当者：（A組：森）（B組：近衛）（C組：近衛）（D組：森）

使用教科書：（『古典探究』大修館書店）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたり必要な国語の知識や技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】考察力・共感力・想像力を伸ばし、自らの思いを他者に的確に発信する能力を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】国際的視野をもち、自国文化の担い手として社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたり必要な国語・古典の知識や技能を身につけるとともに、我が国の古典を主体的に読み、理解を深めることができるようにする。	古典作品において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	古典がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって我が国の文化の担い手である教養人として、言葉を通して他者や国際社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	A★古文を深く理解する ★和歌を詠む ★用言・助動詞の復習	『小野篁・広才のこと』 「花は盛りに」 『玉勝間』 『方丈記』 『伊勢物語』 ○便覧・端末の活用	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 ○プリントまたはレポートの提出。	○	○	○	20
	B★漢文を深く理解する ★漢語の句形の復習 ★漢字に強くなる	故事・逸話 「漱石枕流」「塞翁が馬」 思想 「孔子・孟子・荀子・韓非子」 ○便覧・端末の活用	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 ○プリントまたはレポートの提出。	○	○	○	20
	定期考査						○	○		2
2 学期	A★平安文化を理解する ★和歌を理解する ★助動詞・敬語の復習	『更級日記』 『蜻蛉日記』 『和泉式部日記』 『大鏡』 +歌論書 ○便覧・端末の活用	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 ○プリントまたはレポートの提出。	○	○	○	24
	B★中国文化を理解する ★漢文の句形の復習 ★漢字に強くなる	漢詩 「李白・杜甫・白居易他」 史伝 「項羽と劉邦」 「鴻門の会」 ○便覧・端末の活用	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 ○プリントまたはレポートの提出。	○	○	○	22
	定期考査						○	○		2
3 学期	A★古典の世界を探究する ★『源氏物語』から当時の人の 人生を読む。 ★敬語・助詞の復習	『大鏡』 『源氏物語』 +近世の俳諧 ○便覧・端末の活用	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 ○プリントまたはレポートの提出。	○	○	○	14
	B★漢文の世界を探究する ★「史伝」から当時の人の 人生を読む。 ★漢文の句形の復習	史伝 「項王の最後」 +「長恨歌」 小説 「定伯売鬼」 ○便覧・端末の活用	○	○	○	声を出して読む。 ノートの作成・提出。 宿題の提出。 小テストの実施。 ○プリントまたはレポートの提出。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
									合計	117

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科： 地理歴史 科目： 世界史探究 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 B 組 ・ C 組

使用教科書： （ 世界史探究（東京書籍） ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特徴と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察し、社会課題の解決に向けて構想し、表現、議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史に関する理解を深め、諸資料から歴史に関する情報を読み取り、活用する能力を身につける。	歴史に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉えて、諸課題を考察する歴史的思考力を培う。	広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成に貢献できる資質と能力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	○世界史探究の導入としての位置づけを踏まえ、生徒が現在と異なる過去や現在につながる過去に触れ、世界史学習の意味や意義に気づくようにする。 ○各地域の古代文明について、その共通点や相違点、それらが自然環境とどのように関係しているかなどについて理解する。	世界史へのまなざし 古代文明の出現	【知識・技能】 ・ 人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりについて理解している。 ・ オリент文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現している。 ・ 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、 事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 日常生活から見る世界の歴史や、地球環境から見る人類の歴史について、課題意識や学習の見過越しを	○	○	○	20
	定期考査 ○西アジアと地中海周辺の国家がどのように影響を及ぼしあい、どのような共通点をもっているかについて理解する。 ○この世界で成立した宗教が現在の世界の宗教分布とどのように関係しているかについて理解する。 ○南アジア地域を特徴づける「多様ななかの統一」とはどのようなことなのかなどについて理解する。	西アジアと地中海周辺 南アジア	【知識・技能】 ・ 西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。 ・ 仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアの諸国家などを基に、南アジアの歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、 事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ 南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、 事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、南アジアにおける宗教や文化の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	20
	定期考査			○	○	○	1
	○東南アジア地域における国家形成が交易や思想・文化とどのように関係しているのかなどについて理解する。 ○東アジアと中央ユーラシアの古代国家はどのようにして生まれたのか、また古代国家の誕生と発展が社会と文化に与えた影響や、それによって生みだされた地域の特色	東南アジア 東アジアと中央ユーラシア アフリカ、オセアニア、古アメリカ	【知識・技能】 ・ 海の道や東南アジアの諸国家を基に、東南アジアの歴史的特質を理解している。 ・ 秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。 ・ 自然環境との関わりなどを基に、ユーラシア大陸以				1

2  
学  
期

<p>について理解する。</p> <p>○ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴について、自然環境との関わりに注目しながら理解する。</p>		<p>外の地域に成立した文明の特徴を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、東南アジアにおける宗教や文化の特色、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、唐の統治体制と社会や文化の特色、唐と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・アフリカ、オセアニア、古アメリカの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「東南アジア」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	23
<p>定期考査</p> <p>○アジア・アフリカの広大な地域が、イスラーム文明圏としてまとまった理由などについて理解する。</p> <p>○9世紀から15世紀にかけて、ヨーロッパ世界ではどのような政治、経済、社会、文化の変動がおこったのか、また、それらの変動の結果は後世のヨーロッパにどのようなように継承されていったのかなどについて理解する。</p>	<p>イスラーム世界の拡大と繁栄 中世ヨーロッパ</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりや構造的に理解している。</li> <li>・ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりや構造的に理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、諸地域へのイスラームの拡大の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「イスラーム世界の拡大と繁栄」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	1	23
<p>定期考査</p>			○	○	1	

<p>○歴史上かつてない規模の世界帝国であるモンゴル帝国はどのようにして生まれ、どのように世界を結びつけたのかなどについて理解する。</p> <p>○インドと東南アジアにおけるイスラームの広がりが一様でなかった要因などについて理解する。</p>	<p>中華世界の変容とモンゴル帝国 インド洋海域世界の発展と東南アジア</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりや構造的に理解している。</li> <li>・ インド洋海域世界と東南アジアの発展などを基に、諸地域の交易の進展を構造的に理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・ 諸地域の交易に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、インド洋海域世界と東南アジアの発展などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「中華世界の変容とモンゴル帝国」の内容に対して、見直しをもって学習に取り組もうとしている。</li> <li>・ 「インド洋海域世界の発展と東南アジア」の内容に対して、見直しをもって学習に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	13
<p>3 学 期</p> <p>○大交易時代に、なぜ世界の各地で社会がほぼ同時に大きく変化したのか、また、世界の諸地域間の関係は、前後の時代と比べてどのように特徴づけられるのかなどについて理解する。</p> <p>○16世紀から18世紀にかけて、アジア諸地域に成立した諸帝国が比較的安定した社会を維持できたのはなぜか、また経済的繁栄はどのようにもたらされたのかなどについて理解する。</p>	<p>大交易時代と世界の一体化 ユーラシア諸帝国の繁栄</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。</li> <li>・ 西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特徴を構造的に理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・ アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「大交易時代と世界の一体化」の内容に対して、見直しをもって学習に取り組もうとしている。</li> <li>・ 「ユーラシア諸帝国の繁栄」の内容に対して、見直し</li> </ul>	○	○	○	13
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
						合計
						117



高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 地理探究

教科：地理歴史 科目：地理探究 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組～D組

教科担当者：（A～D組：奥富 孝夫）

使用教科書：（新詳地理探究（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特徴と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察し、社会課題の解決に向けて構想し、表現、議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 地理探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。 地図をはじめとする諸資料を用いて、地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け、地理に関する理解を深め、活用する能力を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 【知識及び技能】 自然環境に関わる諸事象をもとに、それらの規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自然環境に関わる諸事象について、主題を設定し、それらの規則性、傾向性や、地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境について、よりよい社会の定期考査	・地球環境と人間 ・地形 ・気候 ・日本の自然環境 ・地球環境問題	【知識・技能】 自然環境に関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 自然環境に関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	30
	第1部 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業 【知識及び技能】 農業に関わる諸事象をもとに、それらの規則性、傾向性や、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 農業に関わる諸事象について、主題を設定し、それらの規則性、傾向性や、地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 農林水産業について、よりよい社会の定期考査	・農林水産業 ・食料問題	【知識・技能】 農業に関わる諸事象をもとに、それらの規則性、傾向性や、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 農業に関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの規則性、傾向性や、地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 農林水産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	第1部 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業 【知識及び技能】 資源・エネルギーや工業などに関わる諸事象をもとに、それらの規則性、傾向性や、資源・エネルギー問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資源・エネルギーや工業などに関わる諸事象について、主題を設定し、それらの規則性、傾向性や、地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資源、産業について、よりよい社会の定期考査	・エネルギー・鉱産資源 ・資源・エネルギー問題 ・工業 ・第3次産業	【知識・技能】 資源・エネルギーや工業などに関わる諸事象をもとに、それらの規則性、傾向性や、資源・エネルギー問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 資源・エネルギーや工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの規則性、傾向性や、地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
2 学	第1部 現代世界の系統地理的考察 第3章 交通・通信と観光、貿易 【知識及び技能】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの規則性、傾向性や、諸問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 交通、通信網と物流や人の移動に関	・交通・通信 ・観光 ・貿易と経済圏	【知識・技能】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの規則性、傾向性や、諸問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの規則性、傾向性や、地	○	○	○	10



年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～D組

使用教科書：（詳述 公共（実教出版））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学期	A 公共の扉 【知識及び技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本的原理について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	(1) 生涯における青年期の意義 (2) 青年期と自己形成の課題 (3) 職業生活と社会参加 (4) 現代社会と青年の生き方 (5) ギリシアの思想 (6) 宗教の教え (7) 人間の尊重 (8) 人間の自由と尊厳	【知識・技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本的原理について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	B 公共の扉 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとして、行為の結果を重視する考え方や、行為の動機を重視する考え方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 思考実験などの活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	(9) 個人と社会 (10) 主体性の確立 (11) 他者の尊重 (12) 公正な社会 (13) 人間の尊厳と平等 (14) 自由・権利と責任・義務 (15) 人権保障の発展と民主政治の成立 (16) 国民主権と民主政治の発展	【知識・技能】 選択・判断の手掛かりとして、行為の結果を重視する考え方や、行為の動機を重視する考え方について理解している。 【思考・判断・表現】 思考実験などの活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
2 学期	C よりよい社会の形成に参加する私たち 【知識及び技能】 法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 Bと同様	(1) 日本国憲法の成立 (2) 平和主義とわが国の安全 (3) 基本的人権の保障 (4) 人権の広がり (5) 政治機構と国民生活 (6) 人権保障と裁判所 (7) 地方自治 (8) 選挙と政党 (9) 政治参加と世論 (10) 経済社会の形成と変容 (11) 市場のしくみ	【知識・技能】 法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 Bと同様	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	D よりよい社会の形成に参加する私たち 【知識及び技能】 より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 Cと同様 【学びに向かう力、人間性等】 Bと同様	(12) 現代の企業 (13) 経済成長と景気変動 (14) 金融機関の働き (15) 政府の役割と財政・租税 (16) 日本経済の歩みと近年の課題 (17) 中小企業と農業 (18) 公害防止と環境保全 (19) 消費者問題 (20) 労働問題と雇用 (21) 社会保障	【知識・技能】 より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 Cと同様 【主体的に学習に取り組む態度】 Bと同様	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	
3 学期	E よりよい社会の形成に参加する私たち 【知識及び技能】 現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることを理解する。 【思考・判断・表現】 Cと同様 【主体的に学習に取り組む態度】 Bと同様	(22) 国際社会における政治と法 (23) 国家安全保障と国際連合 (24) 冷戦終結後の国際政治 (25) 軍備競争と軍縮縮小 (26) 異なる人種・民族との共存 (27) 国際平和と日本 (28) 国際経済のしくみ (29) 国際経済体制の変化 (30) 経済のグローバル化と金融危機 (31) 地域経済統合と新興国 (32) ODAと経済協力	【知識・技能】 現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることを理解している。 【思考・判断・表現】 Cと同様 【主体的に学習に取り組む態度】 Bと同様	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	F 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標に、論拠を基に自分の考えを説明、論述する。 【学びに向かう力、人間性等】 Bと同様	各班ごとに、具体的な主題を設定し、協働して考察し、まとめ、自分たちの考えを発表する。	【思考・判断・表現】 課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標に、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】 Bと同様		○	○	7
定期考査			○	○		1	
				合計			78

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学科 科目 数学Ⅱ

教科： 数学科 科目： 数学Ⅱ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ D 組

使用教科書： （ 数研出版 数学Ⅱ ）

教科 数学科 の目標：

- 【知識及び技能】 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明確・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1・一般角と弧度法 2・三角関数 3・三角関数の性質 4・三角関数のグラフ 5・三角関数の応用 6・加法定理 7・加法定理の応用 8・三角関数の合成	○角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。 ○加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 ○三角関数の相互関係を理解し、それらを利用して様々な値を求めたり、式変形をしたりすることができる。 ○ $-\theta$ や $\theta \pm \pi$ などの公式を理解し、それらを用いて三角関数の値を求めることができる。 ○三角関数の性質とグラフの特徴を相互に理解している。 ○三角関数を含む方程式・不等式の解き方を理解している。 ○角が $\theta + \alpha$ の形をしている三角関数を含む方程式・不等式の解き方を理解している。 ○三角関数を含む関数の最大値・最小値を求めることができる。 ○加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。 ○2倍角、半角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。 ○2倍角の公式を利用して、等式を証明することができる。 ○2倍角の公式を利用して、やや複雑な三角関数を含む方程式・不等式を解くことができる。 【思考力・表現力・判断力】 ○三角関数の性質を、単位円を用いて考察することができる。 ○三角関数を含む方程式・不等式を解く際に、単位円やグラフを図示して考察することができる。 ○変数をおき換えることで、三角関数を含む関数の最大値・最小値を考察することができる。 ○角を弧度法で表した場合にも、加法定理が適用できる。 ○3倍角の公式を、 $3\alpha = 2\alpha + \alpha$ としてとらえることによって証明することができる。 ○2倍角の公式を利用して、やや複雑な三角関数を含む方程式・不等式の角を統一して考察することができる。 【主体的に取り組む態度】 ○三角比の定義を一般化して、三角関数の定義を考察しようとする。 ○周期関数に興味をもち、その性質を調べようとする。 ○三角関数を含む方程式・不等式の解くことに取り組む意欲がある。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1
1 学期 1・指数の拡張 2・指数関数 3・対数とその性質 4・対数関数 5・常用対数	○指数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ○対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 ○指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 ○底と1の大小に注意して、指数関数を含む方程式・不等式を解くことができる。 ○指数と対数とを相互に書き換えることができる。 ○対数の定義を理解し、対数の値を求めることができる。 ○対数の性質に基づいた種々の対数の値の計算や、等式の証明の方法がわかる。 ○対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。				

		<p>○底と1の大小に注意して、対数関数を含む方程式・不等式を解くことができる。</p> <p>○おき換えによって関数の最大・最小問題を解くことができる。</p> <p>○常用対数の定義を理解し、それに基づいて種々の値を求めることができる。</p> <p>○常用対数を利用して、桁数の問題や小数首位問題などを解くことができる。</p> <p>【思考力・表現力・判断力】</p> <p>○指数が整数の場合だけでなく、無理数の場合まで拡張して、累乗の定義を理解している。</p> <p>○指数関数の増減によって、大小関係や不等式・方程式を考察することができる。</p> <p>○対数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。</p> <p>○真数が正であることに着目し、対数の性質を適切に利用して問題を解決することができる。</p> <p>○非常に大きな数や小さな数の取り扱いが楽になる常用対数の有用性を考察することができる。</p> <p>○底の変換公式を用いることによって、どの対数も常用対数で表現することができる。</p> <p>○桁数や小数首位が第n位の数を、不等式で表現することができる。</p> <p>【主体的に取り組む態度】</p> <p>○指数法則が成り立つようにするには、0乗、負の整数乗、分数乗をどのように定義すればよいかと調べようとする。</p> <p>○指数と対数との相互関係に興味・関心をもつ。</p> <p>○やや複雑な対数方程式、対数不等式に積極的に取り組もうとする。</p> <p>○桁数や小数首位の問題を一般的に考察しようとする。</p> <p>○対数で表された数が無理数であることの証明に関心をもち、考察しようとする。</p>	○	○	○	15
定期考査			○	○		1
1・微分係数 2・導関数 3・接線 4・関数の値の変化 5・最大値・最小値 6・関数のグラフと方程式・不等式	<p>○微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>○導関数の理解を深めるとともに、導関数の有用性を認識できるようにする。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○平均変化率、微分係数の定義を理解し、それらを求めることができる。</p> <p>○微分係数の図形的意味を理解している。</p> <p>○定義に基づいて導関数を求める方法を理解している。</p> <p>○導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。</p> <p>○導関数を利用して微分係数が求められることを理解している。また、微分係数の値などから関数を決定することができる。</p> <p>○接点のx座標が与えられたとき、接線の方程式を求めることができる。</p> <p>○曲線外の点から曲線に引いた接線の方程式の求め方を理解している。</p> <p>○導関数を利用して、関数の増減を調べることができる。</p> <p>○導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかいたりすることができる。</p> <p>○関数の極値が与えられたとき、関数を決定することができる。</p> <p>○導関数を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。</p> <p>○最大・最小の応用問題では、変数のとり方、定義域に注意している。</p> <p>○導関数を利用して、最大値・最小値の応用問題を解くことができる。</p> <p>○導関数を利用して、方程式の実数解の個数問題、不等式の証明問題を解くことができる。</p> <p>【思考力・表現力・判断力】</p> <p>○関数の極限値の性質を直感的に理解し、その性質を利用して関数の極限値を考察することができる。</p> <p>○導関数を表す種々の記号を理解していて、それらを適切に使って表現することができる。</p> <p>○微分係数の図形的な意味と、直線の方程式の公式から、接線の方程式の公式を考察することができる。</p>	○	○	○	24

		<p>○定点Cから曲線に接線を引くとき、接点Aにおける接線が点Cを通ると読み替えて考察することができる。</p> <p>○関数の増減を接線の傾きから考察することができる。</p> <p>○関数の増減や極値を調べるのに、増減表を書いて考察することができる。</p> <p>○関数の極値から関数を決定する際に、必要十分条件に注意して考察することができる。</p> <p>○最大値・最小値と極大値・極小値の違いを、明確に意識して考察することができる。</p> <p>○方程式の実数解の個数を、関数のグラフとx軸の共有点の個数に読み替えて考察できる。</p>				
定期考査			○	○		1
1・不定積分 2・定積分 3・面積	<p>○導関数の理解を深めるとともに、導関数の有用性を認識できるようにする。</p> <p>○積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>○不定積分の計算では、積分定数を書き漏らさずに示すことができる。</p> <p>○不定積分の定義や性質を理解し、それを利用する不定積分の計算方法を理解している。</p> <p>○与えられた条件を満たす関数や曲線の方程式を、不定積分を利用して求めることができる。</p> <p>○定積分の定義や性質を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解している。</p> <p>○定積分は定数であることを理解し、それを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。</p> <p>○上端が変数xである定積分で表された関数を微分して処理することができる。</p> <p>○直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。</p> <p>○上下関係が入れ替わる2曲線で囲まれた面積を求めることができる。</p> <p>○絶対値のついた関数の定積分の計算方法を理解している。</p> <p>○3次関数のグラフとその接線で囲まれた部分の面積を求めることができる。</p> <p><b>【思考力・表現力・判断力】</b></p> <p>○不等式を、関数のグラフとx軸との上下関係に読み替えて、考察することができる。</p> <p>○微分法の逆演算としての不定積分を考察することができる。</p> <p>○定積分が、図形の計量に関して有用であることを認識することができる。</p> <p>○定積分の計算で、分数計算を容易にするための工夫を考察することができる。</p> <p>○上端がxである定積分を、xの関数ととらえて問題を解決することができる。</p> <p>○面積を求める際には、グラフの上下関係、積分範囲などを、図をかいいて考察することができる。</p> <p>○放物線と直線の交点の座標が複雑な値であるとき、放物線と直線で囲まれた部分の面積を、定積分の公式を利用するなどして、工夫して求める方法を考察することができる。</p> <p>○微分や定積分の計算で、導関数や不定積分の公式を利用するなどして、計算を工夫して行う方法を考察することができる。</p> <p><b>【主体的に取り組む態度】</b></p> <p>○積分法が微分法の逆演算であることから、不定積分を求めようとする。</p> <p>○直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分を用いて求めようとする。</p> <p>○微分積分学の基本定理について、興味・関心をもち、考察しようとする。</p>	○	○	○	15

定期考査			○	○		1
1・微分係数 2・導関数 3・接線 4・関数の値の変化 5・最大値・最小値 6・関数のグラフと方程式・不等式 7・不定積分 8・定積分 9・面積 10・発展 極限 11・発展 三角関数の微分	○微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ○導関数の理解を深めるとともに、導関数の有用性を認識できるようにする。 ○積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 ○導関数を利用して微分係数が求められることを理解している。また、微分係数の値などから関数を決定することができる。 ○導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかいたりすることができる。 ○最大・最小の応用問題では、変数のとり方、定義域に注意している。 ○導関数を利用して、最大値・最小値の応用問題を解くことができる。 ○導関数を利用して、方程式の実数解の個数問題、不等式の証明問題を解くことができる。 ○定積分は定数であることを理解し、それを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。 ○絶対値のついた関数の定積分の計算方法を理解している。 ○3次関数のグラフとその接線で囲まれた部分の面積を求めることができる。 【思考力・表現力・判断力】 ○導関数を表す種々の記号を理解していて、それらを適切に使って表現することができる。 ○微分係数の図形的な意味と、直線の方程式の公式から、接線の方程式の公式を考察することができる。 ○関数の極値から関数を決定する際に、必要十分条件に注意して考察することができる。 ○最大値・最小値と極大値・極小値の違いを、明確に意識して考察することができる。 ○方程式の実数解の個数を、関数のグラフとx軸の共有点の個数に読み替えて考察できる。 ○定積分の計算で、分数計算を容易にするための工夫を考察することができる。 ○面積を求める際には、グラフの上下関係、積分範囲などを、図をかいて考察することができる。 ○放物線と直線の交点の座標が複雑な値であるとき、放物線と直線で囲まれた部分の面積を、定積分の公式を利用するなどして、工夫して求める方法を考察することができる。 ○微分や定積分の計算での導関数や不定積分の公式を利用するなどして、計算を工夫して行う方法を考察することができる。 【主体的に取り組む態度】 ○種々の関数の極限値を、興味・関心をもって考察しようとする。 ○関数の増減や極値の問題を導関数を用いて調べ、解決しようとする。 ○4次関数の増減や極値を調べたり、グラフをかいたりする意欲がある。 ○身近にある最大値・最小値の問題を、微分	○	○	○	15
定期考査			○	○		1
					計	89

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学科 科目 数学B

教科：数学科 科目：数学B 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組～D組

使用教科書：（数研出版 数学Ⅱ）

教科 数学科 の目標：

- 【知識及び技能】 数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わり
- 【思考力、判断力、表現力等】 について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、
- 【学びに向かう力、人間性等】 それらを活用する態度を育てる。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
数列、等差数列、等比数列、和の記号Σ	等差数列、等比数列などの簡単な数列について、一般項や第n項までの和を求めたり、記号Σの意味を理解してそれを用いたりできるようにするとともに、事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察する力を養う。	【知識・技能】○数列に関する用語・記号を適切に用いることができる。○数列の定義、表記について理解している。○等差数列の公差、一般項などを理解している。また、条件から等差数列の一般項を決定できる。○等差数列の和の公式を適切に利用して、等差数列の和が求められる。○等比数列の公比、一般項などを理解している。また、条件から等比数列の一般項を決定できる。○等比数列の和の公式を適切に利用して、等比数列の和が求められる。○等比数列の和に関する条件から、初項や公比が求められる。○和の記号Σの意味を理解し、数列の和が求められる。○数列の第k項をkの式で表すことで、初項から第n項までの和が求められる。 【思考・判断・表現】○数列の一般項を表す式を、定義域が自然数であるnの関数と捉え、新しい概念である数列を、既習の関数と関連付けて考察できる。○数の並び方からその規則性を推測して、数列の一般項を考察できる。○等差数列の項を書き並べて、隣接する項の関係やその和について考察できる。○項の正負と数列の和の増減の関係から、等差数列の和の最大、最小について考察することができる。○等比数列の項を書き並べて、隣接する項の関係やその和について考察できる。○Σの性質を利用して、和の計算を簡単に行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】○数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。○等差中項の性質に興味をもち、問題解決に利用しようとする。○等比中項の性質に興味をもち、問題解決に利用しようとする。○複利計算に興味、関心をもち、具体的な問題に取り組もうとする。○自然数の2乗の和や3乗の和の公式を導こうとする意欲がある。	○	○	○	15
1学期 いろいろな数列	等差数列、等比数列などの簡単な数列について、一般項や第n項までの和を求めたり、記号Σの意味を理解してそれを用いたりできるようにするとともに、事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察する力を養う。	【知識・技能】○階差数列について理解し、それを利用して、もとの数列の一般項が求められる。○数列の和と第n項の関係を理解し、数列の一般項が求められる。和の求め方の工夫をして、数列の和が求められる。 【思考・判断・表現】○数列の規則性の発見に、階差数列が利用できる。○初項から第n項までの和に着目して、一般項を考察できる。○ $(k+1)-k$ を用いる和の求め方を理解し、具体的な問題に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】○数列の規則性を、隣り合う2項の差を用いて発見しようとする。○群数列に興味をもち、一般項や和について考察しようとする。	○	○	○	
定期考査			○	○		1
漸化式と数列 数学的帰納法 発展 数列の極限	数列の考え方をもとにして、漸化式と数学的帰納法について理解できるようにするとともに、事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用する力を養う。更に、自然数の性質などを見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較して多面的に考察する力を養う。	【知識・技能】○漸化式の意味を理解し、具体的に項が求められる。○初項と漸化式から数列の一般項が求められる。○数学的帰納法を用いて、等式を証明できる。○数学的帰納法を用いて、整数の性質を証明できる。○数学的帰納法を用いて、不等式を証明できる。 【思考・判断・表現】○漸化式を適切に変形して、数列の特徴を考察することができる。○与えられた条件から $a_n$ と $a_{n+1}$ の間になり立つ漸化式を求めて考察することができる。○自然数nに関する命題の証明には、数学的帰納法が有効なことを理解し、活用することができる。○数列の一般項を推測し、それが正しいことの証明に数学的帰納法を活用することができる。○数学的帰納法で証明した命題について、別の方法で証明してそれらと比較するなど、多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】○おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について考察しようとする。○確率の問題に漸化式が利用できることに興味、関心をもち、問題解決に利用しようとする。○数学的帰納法	○	○	○	15
定期考査			○	○		1

統計的な推測	○確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。また、連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。</li> <li>○確率変数の期待値E(X)や分散V(X)などの計算式を理解して活用できる。</li> <li>○確率変数の和の期待値を、公式を利用して求めることができる。</li> <li>○複雑な確率分布の期待値を、確率変数の和の期待値の公式などを利用して求めることができる。</li> <li>○確率変数の独立について理解している。</li> <li>○独立な確率変数の積の期待値を、公式を利用して求めることができる。</li> <li>○独立な確率変数の和の分散を、公式を利用して求めることができる。</li> <li>○反復試行の結果を、二項分布を用いて表すことができる。</li> <li>○二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。</li> <li>○確率密度関数や分布曲線の定義を理解し、連続型確率変数について、確率を求めることができる。</li> <li>○正規分布に従う確率変数Xを標準正規分布に従う確率変数Zに変換できる。</li> <li>○標準正規分布に従う確率変数Zについての確率を求めることができる。</li> <li>○標準正規分布表を用いて、正規分布に関する確率の計算ができる。</li> <li>○日常の身近な問題を統計的に処理するのに、正規分布を用いることができる。</li> <li>○二項分布に従う確率変数に関する確率の計算を、正規分布に従う確率変数で近似して求めることができる。</li> <li>○連続的な確率変数について理解し、その期待値と分散が求められる。</li> <li>○復元抽出と非復元抽出について理解している。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○試行の結果を確率分布で表すことの意味がとらえられている。</li> <li>○確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。</li> <li>○確率変数の積の期待値や和の分散と確率変数の性質との相互関係がとらえられている。</li> <li>○具体的な事象を二項分布として捉え、考察することができる。</li> <li>○正規分布の特徴を理解し、様々な観点からとらえることができる。</li> <li>○正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○確率論的な試行の結果を数式的に確率分布を用いることよきに基づき、確率分布について積極的に考察しようとする。</li> <li>○確率変数の期待値・分散に関する種々の公式を、その定義や既知の公式を用いて導こうとする。</li> <li>○2つの確率変数の和や積の期待値、分散に関する種々の公式を、確率変数が独立であるかどうかに関心しながら導こうとする。</li> <li>○二項分布の意味、関心をもち、さいころを投げるなどの具体的事象について考察しようとする。</li> <li>○二項分布に従う確率変数の期待値・分散、標準偏差の公式について、確率分布の定義から導こうとする。</li> <li>○二項分布のグラフに関心をもち、調べてみようとする。</li> <li>○連続型確率変数について、離散型確率変数との違いに注目して捉えようとする。</li> <li>○現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち、様々なデータについて考察しようとする。</li> <li>○二項分布について、試行の回数を大きくしたときの分布曲線の変化をコンピュータで見ながら、正規分布に近づいていく様子を探らようとする。</li> <li>○現実に行われている様々な調査が全数調査か標本調査か、またその方法を採用しているのはなぜかに興味をもち、それぞれの調査の特徴を調べたり考えたりしようとする。</li> </ul>	○	○	○	18	
定期考査			○	○		1	
2 学 期	統計的な推測	○母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○確率変数や確率分布について、用語の意味を理解している。</li> <li>○確率変数の確率分布を求めることができる。</li> <li>○母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することを理解し、母平均、母標準偏差を求めることができる。</li> <li>○標本平均が確率変数であることを理解している。</li> <li>○母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる。</li> <li>○標本平均の分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。</li> <li>○推定に関わる用語、記号を適切に活用することができる。</li> <li>○信頼区間の考え方をを用いて、母平均や母比率の推定ができる。</li> <li>○仮説検定に関わる用語を適切に活用することができる。</li> <li>○仮説検定の考え方をを用いて、日常の身近な事象に対する主張を検定することができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することについて考察できる。</li> <li>○母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。</li> <li>○標本の大きさnを大きくしたとき、標本平均がどのような分布になるか直感的に理解した上で、標本平均の値がどの範囲にどれくらいの確率で現れるかを推測できることを理解している。</li> <li>○大数の法則について理解し、標本の大きさnが大きくなるときの標本平均の分布の変化の様子について考察できる。</li> <li>○推定や信頼区間の考え方がわかる。</li> <li>○仮説検定の考え方がわかる。</li> <li>○片側検定と両側検定の違いを理解し、どちらの検定をするか正しく判断できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	23
定期考査			○	○		1	
<理系クラス>微分係数と導関数 導関数の計算 いろいろな関数の導関数 第n次導関数 関数のいろいろな表し方と導関数 接線と法線 平均値の定理 関数の値の変化 関数の最大と最小 関数のグラフ	微分の公式を発展させ、和、差、積、商及び合成関数、逆関数の微分法を理解できるようにする。多項式関数だけでなく、分数関数、無理関数、三角関数、指数関数及び対数関数の導関数について理解できるようにする。	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○微分係数の定義と、その図形的意味を理解している。</li> <li>○微分可能性と連続性の関係を理解し、連続ではあるが微分可能でないことを示せる。</li> <li>○導関数の定義を理解し、定義に基づいて微分できる。</li> <li>○導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の微分法、逆関数の導関数について理解できるようにする。</li> </ul>					

3 学 期	<p>程式、不等式への応用</p>	<p>する。さまざまな関数について、接線の方程式を求めたり、関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をいかたりできるようにするとともに、関数の局所的な変化や大域的な変化に着目し、事象を数学的に捉え、問題を解決する力を養う。</p>	<p>関数の微分法を利用して、種々の導関数を求めることができる。○三角関数、対数関数、指数関数の導関数を理解し、三角関数、対数関数、指数関数を含む種々の関数の導関数を求めることができる。○<math>a</math>が実数のとき、<math>(x^a)' = ax^{a-1}</math>が成立することを理解している。○対数微分法を利用して、複雑な関数を微分できる。○第<math>n</math>次導関数の定義とその表現方法を理解し、種々の関数の第<math>n</math>次関数が求められる。○方程式<math>F(x, y) = 0</math>を関数とみて、合成関数の導関数を利用して微分できる。○曲線の媒介変数表示を理解し、媒介変数で表された関数の導関数が求められる。○微分係数の意味を理解しており、接線の方程式が求められる。○公式を利用して、法線の方程式が求められる。○<math>F(x, y) = 0</math>で表された曲線の接線の方程式を、陰関数の微分法を利用して求められる。○平均値の定理と、その図形的意味を理解し、具体的に<math>c</math>の値を求めることができる。○導関数の符号と関数の増減の関係を理解し、導関数を利用して関数の増減や極値が調べられる。○<math>f(x)</math>が<math>x = a</math>で微分不可能な場合にも、増減表から<math>f(a)</math>が極値になるかどうかを判定できる。○関数の極値に関する条件から、関数を決定することができる。○導関数を利用して増減表をかくことができ、関数の最大値・最小値が求められる。○曲線の凹凸の定義を理解し、第2次導関数の符号で曲線</p>	○	○	○	24
	<p>&lt;文系クラス&gt;総合問題演習</p>	<p>既習事項の基礎・応用の問題に取り組む</p>	<p>【知識・技能】既習事項を確認し、問題の解法へつなげることができる。 【思考・判断・表現】問題の解法を、解法の記述の手法に則り記述することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】問題の解法を、より洗練された記述にしようとする。</p>	○	○	○	24
	<p>定期考査</p>			○	○		1
					計	100	

年間授業計画

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 理科 科目 物理

教科: 理科 科目: 物理 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年 A 組~ D 組

使用教科書: ( 第一学習社 物理 )

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理 の目標:

物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行うことなどを通じて、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1編 力と運動 【知識及び技能】 運動の表し方についての観察、実験などを通して、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の表し方について、問題を見出し見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 運動の表し方に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・剛体のつりあい ・さまざまな運動 ・慣性力 ・円運動と万有引力	【知識及び技能】 観察、実験などを通して、剛体のつりあい、慣性力、円運動と万有引力について理解している。また、観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 問題意識を持ち、見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	2編 力と運動 【知識及び技能】・単振動、運動量、力積についての観察、実験などを通して、さまざまな力、力のつり合い、運動の法則、物体の落下運動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・単振動、運動量、力積とそのはたらきについて、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・単振動、運動量、力積とそのはたらきに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・単振動 ・運動量と力積 ・運動量保存の法則 ・反発係数	【知識・技能】 観察、実験などを通して、単振動、運動量、力積について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
2 学期	1編 力と運動 2編 波動 【知識及び技能】 ・熱現象、波動についての観察、実験などを通して、気体の圧力や温度変化、波の性質について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・熱現象、波の性質について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・熱現象や波動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・気体の性質と分子の運動 ・波の性質	【知識及び技能】 観察、実験などを通して、熱現象や波動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・熱現象や波動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
	2編 波動 3編 電気と磁気 【知識及び技能】 ・音波や光波についての観察、実験などを通して、波動の利用について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・音波や光波について問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・音波や光波に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・音波 ・光波 ・電場と電位	【知識及び技能】 ・観察、実験などを通して、音波や光波について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。				23
定期考査			○	○		1	
3 学期	2編 電気と磁気 【知識及び技能】 ・電磁誘導の法則、自己誘導についての観察、実験などを通して、電磁誘導の法則、自己誘導について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・電磁誘導の法則、自己誘導について、問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・電磁誘導の法則、自己誘導に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・電流 ・電流と磁場	【知識及び技能】 ・観察、実験などを通して、電磁誘導の法則、自己誘導について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題を見だし見直しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。				26
	定期考査			○	○		1
							合計
							117

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物

教科：理科 科目：生物 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 B組～D組

教科担当者：（B組：中澤）（CD組：中澤）

使用教科書：（生物 数研出版）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	1・生物の進化 【知識及び技能】 生物の進化について、観察、実験などを行い、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の進化についての特徴を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度	・指導事項 生物の進化 ・主な実験、観察、ワーク 進化のモデル実験、配偶子の分配に関するモデル実験 ・教材 数研出版 生物、第一学習社 スクエア最新図説生物	【知識・技能】 生物の進化について、基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の進化についての特徴を見出して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 進化に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究しようとしている。	○	○	○	22	
	2・遺伝情報の発現とヒトの生物学 【知識及び技能】 遺伝情報の発現と、遺伝子を扱う技術について、基本的な概念や原理を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝子を扱う技術などについて、日常生活や社会と関連付けて探究し、他者との議論を通して自分の考えを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝情報に関連する事象・事例に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度	・指導事項 遺伝情報の発現とヒトの生物学 ・主な実験、観察、ワーク 遺伝子診断に関するワーク ・教材 数研出版 生物、第一学習社 スクエア最新図説生物	【知識及び技能】 遺伝情報の発現と、遺伝子を扱う技術について、基本的な概念や原理を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝子を扱う技術などについて、日常生活や社会と関連付けて探究し、他者との議論を通して自分の考えを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝情報に関連する事象・事例に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	19	
					○	○		1
2 学 期	3・植物の環境応答 【知識及び技能】 植物の環境応答について、植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 植物の環境応答 ・主な実験、観察、ワーク 植物の発生、種子の発芽、植物の成長に関する観察と実験、 ・教材 数研出版 生物、第一学習社 スクエア最新図説生物	【知識・技能】 植物の環境応答について、植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見いだして理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究しようとしている。	○	○	○	20	
	定期考査				○	○		1
	4・生態と環境 【知識及び技能】 生態と環境について、基本的な概念や原理・法則などを理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	・指導事項 生態と環境 ・主な実験、観察、ワーク 個体群密度の実験、地球環境と生態	【知識・技能】 生態と環境について、基本的な概念や原理・法則などを理解している。科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。					

	<p>に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物間の関係性および生物と環境との関係性を見出して表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生態と環境に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>学に関するワーク</p> <p>・教材 数研出版 生物、第一学習社 スクエア最新図説生物</p>	<p>作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物間の関係性および生物と環境との関係性を見出して表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態と環境に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>5・動物の刺激の受容と反応、動物の行動</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・刺激の受容と反応に関する実験や資料に基づいて、外界の刺激を必要し神経系を介して反応する仕組みを、関与する細胞の特性と関連づけて理解する。</li> <li>・動物の行動に関する資料に基づいて、行動を神経系の働きと関連づけて理解する。</li> <li>・動物の刺激の受容と反応についての観察、実験などの技能を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 動物の環境応答に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究し</p>	<p>・指導事項 動物の刺激の受容と反応、動物の行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な実験、観察、ワーク</li> </ul> <p>眼の構造と機能に関する実験、味覚に関する実験、脳の観察、動物の行動観察</p> <p>・教材 数研出版 生物、第一学習社 スクエア最新図説生物</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・刺激の受容と反応に関する実験や資料に基づいて、外界の刺激を必要し神経系を介して反応する仕組みを、関与する細胞の特性と関連づけて理解している。</li> <li>・動物の行動に関する資料に基づいて、行動を神経系の働きと関連づけて理解している。</li> <li>・動物の刺激の受容と反応についての観察、実験などの技能を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 動物の環境応答に関する事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	26
	学年末考査			○	○		1
							117

年間授業計画

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 A組~D組

使用教科書: (701現代高等保健体育(大修館書店))

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しみとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深め味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しみ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>体育理論</p> <p>【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について主体的に取り組む。</p>	<p>・スポーツの始まりと変遷</p> <p>・文化としてのスポーツ</p>	<p>【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に主体的に取り組んだ。</p>	○	○	○	2
<p>体づくり運動</p> <p>【知識及び運動】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができた。</p>	<p>・体づくり運動</p> <p>・実生活に生かす運動の計画</p>	<p>【知識及び運動】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができた。</p>	○	○	○	2
<p>1学期</p> <p>陸上競技(やり投げ、ハードル)</p> <p>【知識及び技能】 やり投げ、ハードル走の種目について、記録の向上や競争の楽しさ、喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど自ら健康・安全を確保しようとする。</p>	<p>・バス、ドリブル、シュート等の個人技能を向上させ、それらの技能や仲間と連携した動きを用いて、ゲームにおける攻防を行う。</p>	<p>【知識及び技能】 バス、ドリブルなどのボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入し、シュートにつなげることができる。システムを理解し、集団的技術としてチームで連携した防衛ができた。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などにおいて自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 バスケットボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。また互いに助け合い教え合おうとすることや健康・安全を確保することができた。</p>	○	○	○	14
<p>水泳</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど自ら健康・安全を確保しようとする。</p>	<p>・やり投げは、やりの握り方、やりの保持、やりの引き戻しなどの基本動作を身につけ、やりの突き刺しから試合用の投げまで発展させる。</p> <p>・ハードル走は、振り上げ脚・抜き脚の基礎技能を習得し、正しくハードルを走り越すことができるようになる。</p>	<p>【知識及び技能】 陸上競技(やり投げ、ハードル)やり投げ、ハードル走の種目について、記録の向上や競争の楽しさ、喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、それぞれの種目特有の技能を身に付けることができた。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えたことを他者に伝えることができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど自ら健康・安全を確保しようとしていた。</p>	○	○	○	10
<p>水泳</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど自ら健康・安全を確保しようとする。</p>	<p>・クロール、平泳ぎ、バタフライ、背泳の4種類の泳法をつなげた個人メドレーを学習する。</p> <p>・スタート、ターン、フィニッシュの技能を習得し、100m個人メドレーの完泳を目指し、記録向上に挑戦する。</p>	<p>【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができた。</p> <p>【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど自ら健康・安全を確保しようとしていた。</p>	○	○	○	10



年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 A組～D組

使用教科書：（701現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
生涯を通じる健康 【知識】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解する。 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理を必要があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフステージと健康</li> <li>思春期と健康</li> <li>性意識と性行動の選択</li> <li>妊娠・出産と健康</li> <li>避妊法と人工妊娠中絶</li> <li>結婚生活と健康</li> <li>中高年期と健康</li> </ul>	【知識】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解できた。 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理を必要があることを理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組んだ。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切なテーマ設定ができる。</li> <li>テーマについて、資料等から正しい知識を収集することができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのテーマについて課題を見つけ出し、現状と問題点をグループで分担しながら調べを進めることができる。</li> <li>各自が調べたものをグループとしてレポートにまとめることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマについて関心をもって、グループで協力しながら、積極的に課題に取り組もうとする。</li> </ul>	<p>現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康と、以下の健康を支える環境づくりから学習テーマを設定し、テーマについてのレポート作成及び、そのテーマについてディベートを行う準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大気汚染と健康</li> <li>水質汚濁と土壌汚染と健康</li> <li>健康と健康に関わる対策</li> <li>ごみの処理と上下水道の整備</li> <li>食品の安全性</li> <li>食品衛生に関わる活動</li> <li>保健サービスとその活用</li> <li>医療サービスとその活用</li> <li>医薬品の制度とその活用</li> <li>さまざまな保健活動や社会的対策</li> <li>健康に関する環境づくりと社会参加</li> </ul>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切なテーマ設定ができた。</li> <li>テーマについて、資料等から正しい知識を収集することができた。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのテーマについて課題を見つけ出し、現状と問題点をグループで分担しながら調べを進めることができた。</li> <li>各自が調べたものをグループとしてレポートにまとめることができた。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマについて関心をもって、グループで協力しながら、積極的に課題に取り組もうとした。</li> </ul>	○	○	○	16
3 学 期	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他のグループのディベートを聴講し、テーマにおける課題と肯定側および否定側の主張を理解することができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(ディベート班)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>班で用意したことをそれぞれの発表分担と自由討論で積極的に発言できる。</li> </ul> <p>(聴衆者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ディベートを聞きながら、その合理性を判断し、自らの見解を構築することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>班の仲間と協力して、ディベート発表に積極的に取り組むことができる。</li> <li>ディベートの司会、記録、判定の集計を協力して行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディベート発表及び考察</li> <li>各グループは40分程度でディベートを行う。</li> <li>発表グループはレジメを事前に提出する。</li> <li>聴衆者は毎回のディベートを聞き、自分の考えをまとめるとともに相互評価を行う。</li> </ul>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他のグループのディベートを聴講し、テーマにおける課題と肯定側および否定側の主張を理解することができた。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(ディベート班)</li> <li>班で用意したことをそれぞれの発表分担と自由討論で積極的に発言できた。</li> <li>(聴衆者)</li> <li>ディベートを聞きながら、その合理性を判断し、自らの見解を構築することができた。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>班の仲間と協力して、ディベート発表に積極的に取り組むことができた。</li> <li>ディベートの司会、記録、判定の集計を協力して行うことができた。</li> </ul>	○	○	○	9
							合計 39

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 A組～D組

使用教科書：（701現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
生涯を通じる健康 【知識】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解する。 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理を必要があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ライフステージと健康</li> <li>思春期と健康</li> <li>性意識と性行動の選択</li> <li>妊娠・出産と健康</li> <li>避妊法と人工妊娠中絶</li> <li>結婚生活と健康</li> <li>中高年期と健康</li> </ul>	【知識】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解できた。 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理を必要があることを理解した。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組んだ。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切なテーマ設定ができる。</li> <li>テーマについて、資料等から正しい知識を収集することができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのテーマについて課題を見つけ出し、現状と問題点をグループで分担しながら調べを進めることができる。</li> <li>各自が調べたものをグループとしてレポートにまとめることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマについて関心をもって、グループで協力しながら、積極的に課題に取り組もうとする。</li> </ul>	<p>現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康と、以下の健康を支える環境づくりから学習テーマを設定し、テーマについてのレポート作成及び、そのテーマについてディベートを行う準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大気汚染と健康</li> <li>水質汚濁と土壌汚染と健康</li> <li>健康と健康に関わる対策</li> <li>ごみの処理と上下水道の整備</li> <li>食品の安全性</li> <li>食品衛生に関わる活動</li> <li>保健サービスとその活用</li> <li>医療サービスとその活用</li> <li>医薬品の制度とその活用</li> <li>さまざまな保健活動や社会的対策</li> <li>健康に関する環境づくりと社会参加</li> </ul>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切なテーマ設定ができた。</li> <li>テーマについて、資料等から正しい知識を収集することができた。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのテーマについて課題を見つけ出し、現状と問題点をグループで分担しながら調べを進めることができた。</li> <li>各自が調べたものをグループとしてレポートにまとめることができた。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマについて関心をもって、グループで協力しながら、積極的に課題に取り組もうとした。</li> </ul>	○	○	○	16
3 学 期	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他のグループのディベートを聴講し、テーマにおける課題と肯定側および否定側の主張を理解することができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(ディベート班)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>班で用意したことをそれぞれの発表分担と自由討論で積極的に発言できる。</li> </ul> <p>(聴衆者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ディベートを聞きながら、その合理性を判断し、自らの見解を構築することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>班の仲間と協力して、ディベート発表に積極的に取り組むことができる。</li> <li>ディベートの司会、記録、判定の集計を協力して行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディベート発表及び考察</li> <li>各グループは40分程度でディベートを行う。</li> <li>発表グループはレジメを事前に提出する。</li> <li>聴衆者は毎回のディベートを聞き、自分の考えをまとめるとともに相互評価を行う。</li> </ul>	<p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他のグループのディベートを聴講し、テーマにおける課題と肯定側および否定側の主張を理解することができた。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(ディベート班)</li> <li>班で用意したことをそれぞれの発表分担と自由討論で積極的に発言できた。</li> <li>(聴衆者)</li> <li>ディベートを聞きながら、その合理性を判断し、自らの見解を構築することができた。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>班の仲間と協力して、ディベート発表に積極的に取り組むことができた。</li> <li>ディベートの司会、記録、判定の集計を協力して行うことができた。</li> </ul>	○	○	○	9
							合計 39

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ D 組

使用教科書： ( ELEMENT Ⅱ English Communication Ⅱ )

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションの行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書						
1 学 期	<b>【知識及び技能】</b> 各レッスンのテーマに関する語彙を理解する。英語らしい発音を理解し、聞き取る。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 全体のパラグラフ構成を見通しながら、本文の内容が理解できる。また本文に関連した英作文が書けるようになる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 積極的にコミュニケーションを図る態度が身につく。 定期考査	Lesson 1 Cultures around the world  Lesson 2 Power of Words  ・一人1 台端末の活用	○	○	○	○	○	① 定期考査：中間・期末 ② 英単語ターゲット1900英単語テスト ③ Element 単語テスト ④ 音読テスト/Speech ⑤ Writing ⑥ 提出物等	○	○	○	17
	定期考査		○	○			○				1	
	<b>【知識及び技能】</b> 各レッスンのテーマに関する語彙を理解する。英語らしい発音を理解し、聞き取る。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 全体のパラグラフ構成を見通しながら、本文の内容が理解できる。また本文に関連した英作文が書けるようになる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 積極的にコミュニケーションを図る態度が身につく。 定期考査	Lesson 3 Preconception  Lesson 4 The Century of War  ・一人1 台端末の活用	○	○	○	○	○	① 定期考査：中間・期末 ② 英単語ターゲット1900英単語テスト ③ Element 単語テスト ④ 音読テスト/Speech ⑤ Writing ⑥ 提出物等	○	○	○	23
定期考査		○	○			○					1	

2 学 期	<p>【知識及び技能】 各レッスンのテーマに関する語彙を理解する。英語らしい発音を理解し、聞き取る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 全体のパラグラフ構成を見通しながら、本文の内容が理解できる。また本文に関連した英作文が書けるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを図る態度が身につく。</p> <p>定期考査</p>	<p>Lesson 5 How Our Minds Work</p> <p>Lesson 6 IT and Life</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>① 定期考査：中間・期末</p> <p>② 英単語ターゲット1900英単語テスト</p> <p>③ Element 単語テスト</p> <p>④ 音読テスト/Speech</p> <p>⑤ Writing</p> <p>⑥ 提出物等</p>	○	○	○	23
	定期考査		○	○			○		○	○	○	1
	<p>【知識及び技能】 各レッスンのテーマに関する語彙を理解する。英語らしい発音を理解し、聞き取る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 全体のパラグラフ構成を見通しながら、本文の内容が理解できる。また本文に関連した英作文が書けるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを図る態度が身につく。</p> <p>定期考査</p>	<p>Lesson 7 Advances in Medical Technology</p> <p>Lesson 8 A Tiny Step, a Big Impact</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>① 定期考査：中間・期末</p> <p>② 英単語ターゲット1900英単語テスト</p> <p>③ Element 単語テスト</p> <p>④ 音読テスト/Speech</p> <p>⑤ Writing</p> <p>⑥ 提出物等</p>	○	○	○	23
定期考査		○	○			○		○	○	○	1	
3 学 期	<p>【知識及び技能】 各レッスンのテーマに関する語彙を理解する。英語らしい発音を理解し、聞き取る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 全体のパラグラフ構成を見通しながら、本文の内容が理解できる。また本文に関連した英作文が書けるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的にコミュニケーションを図る態度が身につく。</p> <p>定期考査</p>	<p>Cutting Edge (BLUE)</p> <p>大学入試問題演習</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	<p>① 定期考査：学年末</p> <p>② 英単語ターゲット1900英単語テスト</p> <p>③ Cutting Edge 単語テスト</p> <p>④ 音読テスト/Speech</p> <p>⑤ Writing</p> <p>⑥ 提出物等</p>	○	○	○	26
	定期考査		○	○			○		○	○	○	1
											合計	117

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅱ

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ D 組

使用教科書： ( EARTHRISE English Logic and Expression )

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションの行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	【知識及び技能】 文の種類、文型、時制を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文の種類、文型、時制を用いた英作文が書けるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に英語を使用して表現しようとする姿勢が身につく。	文の種類・文の構造 時制（1）  ・副教材 入試必携英作文 Write to the Point ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	10
	定期考査		○	○				○	○	○	1
	【知識及び技能】 完了形、助動詞を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 完了形、助動詞を用いた英作文が書けるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に英語を使用して表現しようとする姿勢が身につく。	時制（2） 助動詞 動詞の態 不定詞 動名詞  ・副教材入試必携英作文 Write to the Point ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	16
定期考査		○	○			○		○	○	○	1

2 学 期	<p>【知識及び技能】 受動態、不定詞、動名詞を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 受動態、不定詞、動名詞を用いた英作文が書けるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に英語を使用して表現しようとする姿勢が身につく。</p>	<p>分詞 比較 関係詞(1)</p> <p>・副教材入試必携英作文 Write to the Point ・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	○	<p>① 定期考査：中間・期末 ② 文法確認テスト（Vintage） ③ Writing ④ Debate ⑤ 提出物等</p>	○	○	○	15
	定期考査		○	○				○		○	○	○	1
2 学 期	<p>【知識及び技能】 分詞、関係詞を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 分詞、関係詞を用いた英作文が書けるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に英語を使用して表現しようとする姿勢が身につく。</p>	<p>関係詞(2) 仮定法 時制の一致と話法 否定・特殊構文 接続詞</p> <p>・副教材入試必携英作文 Write to the Point ・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	○	<p>① 定期考査：中間・期末 ② 文法確認テスト（Vintage） ③ Writing ④ Debate ⑤ 提出物等</p>	○	○	○	15
	定期考査		○	○				○		○	○	○	1
3 学 期	<p>【知識及び技能】 文の種類、文型、時制を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文の種類、文型、時制を用いた英作文が書けるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に英語を使用して表現しようとする姿勢が身につく。</p>	<p>名詞・冠詞・代名詞 形容詞・副詞 疑問詞・前置詞</p> <p>・副教材入試必携英作文 Write to the Point ・一人1台端末の活用</p>	○	○	○	○	○	○	<p>① 定期考査：中間・期末 ② 文法確認テスト（Vintage） ③ Writing ④ Debate ⑤ 提出物等</p>				17
	定期考査		○	○				○		○	○	○	1
												合 計	
													78

